

# 令和6年度 第1回 久留米市食育推進会議

日時：令和6年7月29日(月)

14時～15時30分

場所：久留米市職員会館メルクス3階ホール

1 会長あいさつ

2 委員紹介

3 第4次久留米市食育推進プランについて

4 議案

第1号議案 令和5年度 久留米市食育推進会議 事業実績及び決算、監査

第2号議案 令和6年度 久留米市食育推進会議 事業計画(案)、予算(案)

5 報告

(1) 第4次食育推進プランに基づく令和5年度事業実績・  
令和6年度事業計画

(2) 第4次食育推進プランにおける目標指標の進捗状況

6 その他

## 久留米市食育推進会議委員名簿 (R5. 4. 1~R7. 3. 31)

◎会長、○副会長、☆監事

		団体名	役職	氏名
1	行政	久留米市	副市長	◎橋本 政孝
2	学識経験者	聖マリア学院大学看護学部	准教授	○浅野 美智留
3	教育・保育 関係機関	久留米市立金島小学校	校長	江島 陽子
4		久留米市立田主丸中学校	校長	立山 雅夫
5		久留米市立南筑高校	校長	山下 経男
6		(一社) 久留米市保育協会 つばさ保育園	園長	坂井 慎也
7		久留米市私立幼稚園協会 成田山幼稚園	園長	友野 優里
8		久留米市小・中学校 PTA 連合協議会 南小学校	副会長 PTA 副会長	左村 継美
9		久留米市小・中学校 PTA 連合協議会 城島中学校	PTA 家庭教育委員	下坂 亜矢子
10	健康・医療 関係機関	(一社) 久留米歯科医師会 のん KIDS DENTAL 院長	歯科医療委員会委員長	山下 伸子
11		(一社) 福岡県歯科衛生士会 南支部	支部長	佐藤 総子
12	保健衛生関 係機関	久留米市食品衛生協会	専務理事	高原 雄二
13	農商工業関 係機関	JA くるめ青年部	副部長	高木 健作
14		JA くるめ女性部	部長	尾形 文子
15		久留米商工会議所	事務局長	☆笠 智宣
16	市民団体	久留米市食生活改善推進員協議会	会長	☆和田 久子
17		NPO 法人栄養ケア・ちっこ	監事	山崎 禮子
18		スローフード協会筑後平野	会長	梅本 貴志
19	行政	久留米市健康福祉部	保健所長	藤田 利枝
20		久留米市子ども未来部	部長	豊福 由紀子
21		久留米市環境部	部長	西村 信二
22		久留米市農政部	部長	半田 祐介
23		久留米市教育部	部長	重石 悟

## 令和5年度 久留米市食育推進会議 事業実績及び決算

## 1. 食育推進会議の開催

第4次食育推進プランに基づき、本市の食育推進事業を計画的に進めるための協議を行った。

	時期	内容
第1回	令和5年12月4日 (書面開催)	・令和4年度事業実績、決算、監査 ・令和5年度事業計画(案)、予算(案) ・第4次プランの進捗状況 ・第4次食育推進プランに基づく令和5年度の事業計画

## 2. 食育啓発展示『食育ギャラリー』の開催

市民の食育に関する認知度、関心度を図るとともに、自らが食育を実践し、健全な食生活を実践できるように、第4次久留米市食育推進プランに基づき、久留米市食育推進会議の各専門部会並びに食育関連団体等と連携して、食育についての情報発信や啓発を行う『食育ギャラリー』をふるさとくめ農業まつりと同時に開催した。

日時・会場：令和5年11月11日(土)、12日(日) 久留米百年公園

内容：食育推進会議の部会及び関係団体等による活動等を示したパネル展示及び食育に関連するクイズやリーフレット・チラシの設置 など

別添資料①参照

## 3. 市民等への食育啓発

- ・毎月19日の『食育の日』に、各団体から寄せられた食育関連情報を「食育通信」としてまとめ、市公式LINE等で情報発信した。  
(食育友の会、小中学校、校区コミュニティ組織、久留米市職員)
- ・商工労働ニュースを活用し、市内事業所向けに食育推進の啓発を行った。
- ・久留米市役所において、『食育の日』を「定時退庁日」として、早く帰宅して家族との食事を楽しむことを呼びかける取組を行った。

## 4. 事業の効果

第4次食育推進プランの目標像「市民みんなが食への理解を深め、生涯にわたり健全な食生活を実践するまち」を目指し行っている4つの基本施策、「①生きる力を育む食育、②健康づくりのための食育、③食と農への理解を促進する食育、④環境に配慮した食育」に根差した活動を各部会、各協力団体の協力で行うことが出来た。

## 令和5年度食育推進事業 食育ギャラリー事業実績報告

1. 目的：市民の食育に関する認知度、関心度を図るとともに、自らが食育を実践し、健全な食生活を実践できるように、第4次久留米市食育推進プランに基づき、久留米市食育推進会議の各専門部会並びに食育関連団体等と連携して、食育についての情報発信や啓発を行う。
2. 日時：令和5年11月11日（土）、12日（日） 10:00～16:00  
※第49回ふるさとくるめ農業まつりと同時開催
3. 会場：久留米百年公園 多目的広場
4. 来場者数：48,000人 ※農業まつり実行委員会公表  
(11日（土）25,000人、12日（日）23,000人)

## 5. 実績

○食育推進会議及び関連団体 出展一覧

出展団体	内容
子ども食育部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校給食マスターをめざそう」学校給食クイズ</li> <li>・子どものおやつ、共食に関するパネル展示</li> <li>・朝ごはんについての展示</li> </ul>
食と健康部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食育謎解きクイズにチャレンジ！～おいしく食べて楽しい健康づくり～」食と健康クイズ</li> <li>・バランスの良い食事レシピの配布</li> <li>・健康ポイントアプリ紹介</li> </ul>
地産地消部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地産地消クイズ」～答えはパネルの中に～</li> <li>・地産地消農産物ぬりえ</li> <li>・多面的機能、久留米市農産物統計パネルの展示</li> <li>・地産地消農産物を使ったレシピ配付</li> </ul>
食の循環部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトル回収デモ機の体験</li> <li>・ペットボトル回収デモ機パネル展示</li> <li>・てまえどり・食育パネル展示</li> </ul>



(子ども食育部会)



(食と健康部会)



(地産地消部会)



(食の循環部会)



(スタンプラリー受付)

6. 効果：第4次食育推進プランの目標像「市民みんなが食への理解を深め、生涯にわたり健全な食生活を実践するまち」の達成に向けて、4つの基本施策、「①生きる力を育む食育、②健康づくりのための食育、③食と農への理解を促進する食育、④環境に配慮した食育」に根差した取組を各専門部会及び各協力団体の協力のもと、新しい生活様式に対応した形態で、市民に対して情報発信し、食育について啓発することができた。
- 今年度から全ブースを回って集めるスタンプラリーを始めたことにより、多くの人を集客することができた。昨年人気があった動画や体験型のクイズだけでなく、展示パネルやクイズに取り組むことにより、自らが見たり、考えたりして、体験しながら「食の大切さ」を改めて認識するとともに、食育への理解と関心を高めることができた。

## 令和5年度久留米市食育推進会議決算

(収入)

(単位：円)

項 目	R5予算	R5決算	比較増減	内 訳
市補助金	745,000	729,057	▲ 15,943	15,943円を市へ戻入
雑入	0	2	2	預金利息
合 計	745,000	729,059	▲ 15,941	

(支出)

(単位：円)

項 目	R5予算	R5決算	比較増減	内 訳
会議費・事務費	80,000	69,485	▲ 10,515	会議1回（謝金、郵送代等）
事業推進費	665,000	659,574	▲ 5,426	食育啓発展示『食育ギャラリー』経費
合 計	745,000	729,059	▲ 15,941	

# 監査報告書

久留米市食育推進会議の令和5年度事業ならびに運営について、令和5年度事業実績、及び、決算に基づき出納簿、領収書、その他関係書類を監査したところ、その内容については適正に処理されていることを報告します。

久留米市食育推進会議会長 殿

令和 6年 6 月 26 日

監事 笠 智宣 

令和 6年 7 月 1 日

監事 和田 久子 

## 令和6年度 久留米市食育推進会議事業計画（案）、予算（案）

### 1. 事業計画（案）

#### （1）食育推進会議の開催

第4次食育推進プランに基づき、本市の食育推進事業を計画的に進めるための協議を行う。

	時 期	内 容
第1回	令和6年7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度事業実績、決算</li> <li>・ 令和6年度事業計画（案）、予算（案）</li> <li>・ 第4次食育推進プランに基づく令和5年度事業実績・令和6年度事業計画</li> <li>・ 第4次食育推進プランにおける目標指標の進捗状況</li> </ul>
第2回	令和7年1月頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次期食育推進プランについて</li> </ul>

#### （2）食育啓発展示『食育ギャラリー』の開催

市民への食育啓発を目的とした展示会を開催する。

市民の食育に関する認知度・関心度の向上を図るとともに、市民が自ら食育を実践し、健全な食生活を実施できるよう啓発を行う。

日 時：令和6年11月9日（土）、10日（日）〔予定〕

※第50回ふるさとくるめ農業まつりと同時開催

会 場：久留米百年公園 〔予定〕

内 容：食育関係資料などの展示コーナー・食に関する相談やクイズ など

#### （3）市民等への食育啓発

- ・ 毎月19日の『食育の日』に、食育関連情報を掲載した「食育通信」を市公式LINE等で配信する。

（小中学校、校区コミュニティ組織、久留米市職員）

- ・ 市内事業所向けに食育推進の啓発を行う。
- ・ 久留米市役所において、『食育の日』を「定時退庁日」として呼びかける取組を行う。



## 2. 令和6年度久留米市食育推進会議予算（案）

（収入）

（単位：円）

項目	R6予算	R5予算	比較増減	内 訳
市補助金	745,000	745,000	0	
雑入	0	0	0	預金利息
合 計	745,000	745,000	0	

（支出）

（単位：円）

項目	R6予算	R5予算	比較増減	内 訳
会議費・事務費	150,000	80,000	70,000	会議2回（謝金・事務費等）
事業推進費	595,000	665,000	△ 70,000	食育啓発展示 （開催費及び事務費）
合 計	745,000	745,000	0	

## 第4次食育推進プランに基づく令和5年度事業実績・令和6年度事業計画

基本施策Ⅰ	生きる力を育む食育 【子ども食育部会】	1 ページ
基本施策Ⅱ	健康づくりのための食育 【食と健康部会】	3 ページ
基本施策Ⅲ	食と農への理解を促進する食育 【地産地消部会】	4 ページ
基本施策Ⅳ	環境に配慮した食育 【食の循環部会】	5 ページ
共通施策	食育への理解と関心を高める	5 ページ

《基本施策 I 生きる力を育む食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R5年度事業実績	R5年度 決算額 (千円)	R6年度事業計画	R6年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策1 学校、保育所等における子どもへの食育の推進							
①	食育プログラム研究推進事業における子どもへの食育の推進	久留米市栄養教諭等研究会で作成する「久留米市食育プログラム」年間計画に基づいて、担任と連携しながら生活科や社会科、特別活動等で食に関わる指導を実施し、児童生徒の食に関わる資質・能力の育成を図る。	○学校における食に関する教科等の指導や給食指導をおこなった。 実践例:学級活動「マナーについて知ろう」「にがてなたべものももっとなかよくなるよう」「なんでもたべよう」「すききらいをなくそう」「バランスのよい食事をしよう」「おやつのとりに方について考えよう」「中学生に必要な栄養と学校給食」、家庭「食べ物に含まれる栄養素とその働き」「食べて元気に」「献立を工夫して」「(中2)お弁当づくりに挑戦しよう」「(特支高2)バランスの良い食事」 ○栄養教諭等が配置されていない中学校における食に関する指導をおこなった。	390	○学校における食に関する教科等の指導や給食指導を充実する。 ○栄養教諭等が配置されていない中学校における食に関する指導を充実する。	387	学校教育課
		学校における食に関わる指導以外での食育推進活動(親子料理教室の実施、家庭への働きかけとしてのレシピカードや保護者向けの通信等の作成・配付及びレシピ動画作成・配信等)に対して支援する。	○教職員向け食に関する情報通信「もぐもぐ通信」を年2回作成・配布した。 ○「朝ごはん摂取率」向上へ向けた子どもや保護者、未就学児とその保護者への啓発を行った。 ・朝ごはんレシピカード数:26食、レシピ動画数:4食 ・小学校入学前の保護者向けに通信を配布 主な内容「早ね早おき朝ごはん」「給食時間を楽しく過ごすために」		○食への関心を高める「親子料理教室」や「お弁当の日」などを開催。 ○教職員向け食に関する情報通信「もぐもぐ通信」の作成・配布(年2回)。 ○「朝ごはん摂取率」向上へ向けた子どもや保護者、未就学児とその保護者への啓発。		学校教育課
②	魅力ある学校給食を通じた食育の推進	学校給食が、「生きた教材」として活用されるよう、「久留米市食育プログラム年間計画」と関連した献立年間計画を作成し、楽しい給食を通して効果的な食育を実施します。	献立年間計画を基に、教科等と関連付けた献立作成を実施した。給食時間はもとより、指導方法を工夫し、ICTを活用した。	-	久留米市食育カリキュラムから作成した食育プログラムとリンクさせた献立年間計画を作成し、教科等と関連付けた指導が行える献立をもとに指導を行う。	-	学校保健課
		献立のねらい(栄養バランスや噛むこと等)に基づいた給食指導資料を作成し、給食時間の放送資料として学校へ配付します。	献立のねらいに基づいた給食指導資料を作成し、給食時間における指導内容の充実を図った。また、朝ごはん献立を毎月取り入れ、朝ごはんの大切さについて啓発を行った。	-	献立のねらいと「給食」という体験を通じた、給食時間における指導の内容充実を図る。 「朝ごはん献立」を給食に取り入れ、朝ごはんの大切さについて、給食時間の指導、啓発を継続する。	-	学校保健課
		子どもたちが望ましい食習慣を身に付けることができるように、「給食献立表」及び「給食だより」の発行や試食会の開催など、家庭への食育啓発を行います。	望ましい食習慣、生活習慣を見につけることができることを目的とし、児童配布献立表や給食だより「ランチタイム」で食の情報を毎月発信を行い啓発を行った。また、市ホームページにアップすることにより、食の啓発を効果的に実施した。	-	児童配布献立表や給食だより「ランチタイム」で食の情報を毎月発信する。また、保護者や地域の方に対し、試食会を開催する。	-	学校保健課
③	学校給食への久留米産農産物の導入促進	久留米産の米を使用した主食に加え、旬の久留米産野菜を多く使用した副食による「地場産の日」を毎月2回設定します。	久留米産の米を使用した主食の日に合わせて毎月2回、地場産給食の日を実施し、地場産野菜を組み合わせることにより、子どもへの理解を図るとともに、利用促進に寄与した。	-	毎月2回、「地場産給食の日」の実施により、子どもたちへの久留米産農産物の理解促進を図る。	-	学校保健課
		久留米産農産物の積極的な活用を念頭に置いた献立年間計画を作成するとともに、新規献立の開発などの献立の工夫を行い、また、生産者と子どもたちとの収穫体験や交流給食等の活動を通して感謝の念を育みます。	久留米産の米を使った米飯給食を週4回を継続して実施した。また、地場産農産物を使った献立の開発を行い、試作を経て学校給食へ新しい献立を考案し工夫した。令和5年度は、5品を学校給食に取り入れた。	-	地産地消の推進などを目的として、久留米産米による米飯給食を週4回実施する。また、献立年間計画を基に、地元食材を使った献立の開発など、学校給食への久留米産農産物の導入促進を図る。	-	学校保健課
		学校給食調理員による久留米産農産物を使用した料理コンクールを行い、調理技術スキルと意欲を高め、学校給食における食事内容の充実と多様化を図ります。	学校給食調理員による久留米産農産物を使用した学校給食料理コンクールを実施した。 日程:令和5年8月8日(火) えーるピア久留米 1位となった学校の献立は、1月の学校給食で実施した。(揚げ鶏のネギソースかけ、しらたきの塩昆布炒め、すまし汁)	-	学校給食調理員による久留米産農産物を使用した料理コンクールを実施する。 日程:令和6年8月7日(水)	-	学校保健課
④	保育所、幼稚園、認定子ども園等における子どもへの食育の推進	各園で様々な形態によって提供される給食が、子どもの発育、発達、健康状態、接触機能など、子どもの特性に応じて適切に実施できるように、食事計画や献立作成時に必要な情報提供による支援や研修などを実施します。	○施設職員向けの給食・食育研修会を実施した。 ・公立保育所:3回(給食事務、乳幼児の食事・誤嚥防止、給食衛生管理) ・公立及び私立保育所:3回(食育研修) ・保育所 認定子ども園 幼稚園:1回(給食衛生管理)  ○認可保育所等での3歳以上児への主食提供による、給食の充実を図った。	57,450	○施設職員向け給食・食育研修会を実施する。 公立保育所:3回、公立及び私立保育所:3回、保育所・認定子ども園・幼稚園:1回  ○認可保育所等で3歳以上児への主食提供による給食の充実を図る。  ○各園において食育計画に基づき、感染対策を行いクッキングなど食育の取り組みを継続する。	66,150	子ども保育課

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R5年度事業実績	R5年度 決算額 (千円)	R6年度事業計画	R6年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策2 家庭・地域への食育啓発の推進							
①	食育プログラム研究推進事業における家庭・地域に対する食育啓発の支援	学校、家庭、地域が自校の児童生徒の朝食を含む食生活の実態を把握し、課題を共有するとともに、その課題解決に向けた三者が協働して朝食摂取を促す取組を実施することに対して支援を行います。	○学校、家庭及び地域が連携した運動を展開し、子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上、朝食摂取率の向上を図った。 <活動> 食に関するアンケート、生活リズムカード、食育推進支援事業(9校実施) ・南小「野菜の栽培と調理」 ・山川小「元気に育て、おいしく食べよう」 ・高良内小「食の体験活動」 ・田主丸小「さいばい:花ややさいの大きくなるひみつはっけん」 ・青峰小「『生』と『食』をつなぐ生教育」 ・江上小「江上っ子農園活動」 ・善導寺小「様々な味噌汁を味わい、給食味噌汁コンテストを行おう」 ・京町小「さつまいもを育てよう」 ・北野中「身近な菌を調べよう」	390	○学校、家庭及び地域が連携した運動を展開し、子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上、朝食摂取率の向上を図る。 <活動予定> 食に関するアンケート、生活リズムカード、食に関する講演会、地域人材を活用した野菜の栽培や調理等の学習、親子料理教室、お弁当の日、おにぎりの日の取組など	387	学校教育課
		朝食摂取を促す三者協働の効果的な取組が、他校への取組の参考事例となるように啓発を行います。	○朝食摂取を促す三者協働の取組や、各学校での食に関する取組等を、リーフレット、チラシ、動画等で発信を行った。 ○11月11日12日に開催された「ふるさとくめ農業まつり」で、調理器具のクイズ、朝ごはんや学校給食に関する資料掲示、フードモデルの提示、レシピ動画のQRコードを掲載したレシピカードの配布を行った。		○朝食摂取を促す三者協働の取組や、各学校での食に関する取組等を、リーフレット、チラシ、動画等で発信を行う。		学校教育課
②	母子保健事業における食育支援	妊娠届出の際に、妊婦の健康状態や食生活などを把握し、リスクに応じた適切な食生活指導等を行います。	○妊娠届出の際に、保健師等の専門職が、妊婦の妊娠前のBMIや生活習慣病の家族歴等から健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、適切な食生活指導等を行った。 (届出数: 2151人)	-	○妊娠届出の際に、保健師等の専門職が、妊婦の妊娠前のBMIや生活習慣病の家族歴等から健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、適切な食生活指導等を行います。	-	こども子育てサポートセンター
		離乳食教室や子育て相談会などを利用し、子どもだけでなく大人も含めた食生活改善を促し、家庭での「共食」を通じた食生活の支援に努めます。	○マタニティ教室や離乳食教室、子育て相談会、乳幼児健診、妊娠届出などの機会を利用し、「共食」を通じて家族を含めた食生活の見直しにつながるよう、配布資料や講話内容を充実させ、普及啓発を図った。 (マタニティ食事教室4回、離乳食教室33回、ゆったり子育て相談会48回、集団乳幼児健診(1歳6ヶ月児、3歳児) 46回)	1,550	○マタニティ教室や離乳食教室、子育て相談会、乳幼児健診、妊娠届出などの機会を利用し、「共食」を通じて家族を含めた食生活の見直しにつながるよう、配布資料や講話内容を充実させ、普及啓発を図ります。 【マタニティ食事教室4回、離乳食教室33回、ゆったり子育て相談会48回、集団乳幼児健診(1歳6ヶ月児、3歳児) 46回】	2,107	こども子育てサポートセンター
③	地域子育て支援センター、子育て交流プラザくるん、児童センターにおける食育支援	地域子育て支援センターなどの子育て支援施設で実施する食育講座や離乳食相談会等を通じて家庭での正しい食習慣の推進を行います。	○食育事業の実施 計16回(184人) ・地域子育て支援センターによる食育講座・3回(45人): 幼児食の講話と調理のデモンストレーション ・子育て交流プラザくるんによる離乳食相談会・11回(108人): 離乳食の講話と個別相談 ・児童センターによる食育講座(乳幼児食の講話)・2回(31人) 会場もしくはオンライン参加(ZOOMによるライブ配信)で行った。	31	○子育て支援事業を通じて、共食など家庭での正しい食習慣の確立のため啓発を行います。 ・地域子育て支援センターによる食育講座(乳幼児食の講話及び調理実習) ・子育て交流プラザくるんによる離乳食相談会 ・児童センターによる食育講座(乳幼児食の講話) ・子育て支援団体及び校区すくすく子育て委員会等への出前講座	69	こども子育てサポートセンター
④	多様な暮らしに配慮した子どもへの食育支援	様々な家庭の事情を抱えた子どもへの食事の提供や地域との交流を支援し、食生活の向上と望ましい食習慣の形成を図ります。	○市内において子ども食堂を実施する団体に対し、運営または施設整備にかかる費用を助成した。 子ども食堂実施団体数: 14団体 延べ実施回数: 485回 延べ参加者数: 12,731人	3,457	○市内において子ども食堂を実施する団体に対し、運営または施設整備にかかる費用を助成する。	5,980	子ども政策課

⑤	保育所、幼稚園、認定子ども園等における食育支援	給食献立表、給食だよりの発行、給食試食会や親子クッキングの実施、給食の展示など、保育所、幼稚園、認定子ども園において、家庭を含めた保護者への食育啓発の支援を行います。	<p>○保護者向け食育取組状況は次のとおりだった(保育所、認定子ども園、幼稚園への食育アンケート調査結果・複数回答)</p> <p>&lt;取組をした項目・回答割合&gt;</p> <p>・給食展示84%、給食だより81%、栄養成分表示72%</p> <p>○乳幼児の食に関する情報提供啓発物(子どもたちに食べさせたい料理レシピ:野菜嫌いを克服しよう、ベジトレシピ)を市ホームページで配信し、保育所や認定子ども園、幼稚園の保護者へ、同啓発物のチラシを配布した。</p>	30	<p>○保育所、幼稚園、認定子ども園に対する食育に関するアンケートの実施及び食育講座を行い食育の啓発を図る。</p> <p>○乳幼児の食に関する情報を、市ホームページ等で配信を行う。</p>	244	子ども保育課
---	-------------------------	---	--	----	---	-----	--------

＜基本施策Ⅱ 健康づくりのための食育＞

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R5年度事業実績	R5年度 決算額 (千円)	R6年度事業計画	R6年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策1 生活習慣病予防・改善のための食育推進							
①	健康づくり を支える環 境整備	くるめ健康づくり応援店事業により、市内の飲食店や食料品販売店等で健康情報提供や栄養成分表示等を行い、健康に配慮した食環境の整備を進めます。	○食生活改善普及運動月間(9月)の取組 ・コンビニやスーパーなど中食・内食を扱う店舗にて、食事のバランスアップを目的とした啓発POP「野菜をプラス一皿」を掲示。(134店にPOP提供) ・「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」についての動画を作成、喫食スペースにて小型モニターで放映(2店)。 ・ガイドブック、ポスター等掲示により情報提供を実施。  ○市健康づくりアプリとの連携 応援店利用によりアプリポイントの付与を実施し、健康づくりアプリと連携。(1か月、付与回数129回)	445	○応援店で「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」についての情報提供を充実させ、健康に配慮した食環境の整備を進める。  ○「くるめ健康づくり応援店アプリ」については、「くるめ健康のびのびポイント事業」と連携し、事業の周知拡大、利用促進を図る。	348	健康推進課
		給食施設に対して、栄養指導員により食を通じた健康づくりを促進するための支援・指導を行います。	○給食施設への個別巡回指導や研修会等の集団指導を実施。 ・巡回指導数:83施設 ・研修会:2回(①6月・参加者数62人、②2月・参加者数45人)	70	○巡回指導や研修会を通じて、給食施設に対して食を通じた健康づくりを促進するための支援・指導を行う。 特定給食施設等届出数:229施設(R6.4.1時点)	174	健康推進課
②	地域における生活習慣病予防のための食育推進	食生活改善推進員が地域において、講話や調理実習等を通じて生活習慣病予防についての普及・啓発を行います。	○地区組織活動 食生活改善推進員による講話・調理実習を各地域で実施。「おいしく食べて生活習慣病予防」を主なテーマとし、資料やレシピに、「主食・主菜・副菜をそろえる」「減塩」などの内容を盛り込み、自身の実践及び家庭、地域への普及啓発を図った。 (実施回数:39回、参加者数延べ571人)	1,130	○食生活改善推進員が市民を対象に、生活習慣病予防のための講話・調理実習を各地域で行う。	1,787	健康推進課
③	健診事業・保健事業における食育推進	健康管理ブック等で、主食・主菜・副菜をそろえた食事等の情報提供を行います。	○特定健診受診者への情報提供 「健康管理ブック」を配布し、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関する情報提供を実施。(健康管理ブック配布数23,000部)	-	○特定健診受診者に配布する「健康管理ブック」で、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関する情報提供を行う。	-	健康推進課
		特定保健指導等の生活習慣病発症・重症化予防のための保健指導や出前講座を実施します。	○各種保健指導・教室 特定健診の結果に応じた指導や教室(特定保健指導、早期介入保健指導、お腹まわりすっきり相談、重症化予防事業)を実施。	-	○特定健診の結果に応じて、各種保健指導や教室を実施する。 (特定保健指導、早期介入保健指導、お腹まわりすっきり相談、重症化予防事業)	-	健康推進課 地域保健課
●個別施策2 生涯を通じた切れ目のない食育推進							
①	若い世代への食育推進	YouTube動画等、手軽に情報入手できるツールを活用して、食に関する情報発信を行います。	○料理動画の配信 「主食・主菜・副菜を揃えること」や「野菜摂取」に関する動画を4シリーズ14本配信した。  ○食育教室やイベントでの活用・啓発 食育教室やイベントにて、動画を活用して情報発信を行った。	116	○YouTube動画の配信や高校・大学等へのポスター配布より、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」など、食に関する情報発信を行う。  ○市内の高校・大学等に、市から講師を派遣し、食の重要性やバランスのよい食事などについて理解を深め、健全な食生活を実践できるよう、講話等により食育教室を行う。	309	健康推進課
		高校生・大学生等を対象に講話や実習による食育教室を実施します。	○食育教室の実施 バランスのよい食事の基本的な知識や実践方法に関する講話や調理実習を実施。(実施校:6校、14回、延人数384人)  ○情報提供(ポスター)の実施 市内の高校・大学等18校に「食事バランス」、「朝食摂取」に関する2種類のポスターを配布した。				
②	高齢者事業における食育推進	介護予防事業の中で、フレイル予防や口腔機能の向上に関する講座を行います	○介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報の発信を行っている。 (口からはじまる健康長寿講座 8会場各1回 参加者83人) (認知症予防講座7会場各5回 参加者延513人) (お口のための講師派遣 38回 参加者数600人)	4,643	○介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報の発信を行う。 (お口のための講師派遣、認知症予防講座、口からはじまる健口教室)	5,492	長寿支援課

〈基本施策Ⅲ 食と農への理解を促進する食育〉

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R5年度事業実績	R5年度 決算額 (千円)	R6年度事業計画	R6年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策1 農業体験等を通じた食と農の理解促進							
①	農業体験や生産者との交流を通じた食への感謝と農業への理解促進	市内の小学校での学童農園活動を支援し、小学生の農業・農村への理解促進を図るとともに、ふれあい農業公園等での農業体験を通じて、食への感謝の気持ちの醸成を推進します。	○農業団体等が市内の小学校で実施する学童農園事業を支援し、児童と生産者との交流や農業への理解促進を図った。 (実施校:37校/44校中) ○ふれあい農業公園や西部土づくり広場等での収穫体験や農業体験などを通して、市民の食に対する気持ちを育んだ。	4,700	○児童が生産者との交流や農業への理解促進を目的として農業団体等が市内小学校で実施する学童農園事業を支援する。 ○ふれあい農業公園等での収穫作業や農業体験などを通して、食への感謝の気持ちを育む。	5,400	生産流通課 農業の魅力促進課
		農業まつりなどの開催による生産者と消費者の交流や情報発信を行い、市民の食と農への理解を促進します。	○第49回ふるさとくめ農業まつりを11月11日(土)、12日(日)に開催し、生産者と消費者との交流を行い、本市農業・農産物の情報を発信するとともに、食育ギャラリーや地産地消推進店の出店などにより、市民の食と農の理解への理解促進に努めた。(来場者45,000人)	9,779	○第50回ふるさとくめ農業まつりや地域の農業関係イベントの開催を通じて、本市農業・農産物や地産地消の取組を紹介し、食と農への理解促進を図る。	10,779	農業の魅力促進課
②	農業・農村の持つ多面的機能の理解促進	農業まつりや中央図書館等において、農業の魅力や農業・農村の多面的機能を示したパネルを展示し、情報発信を行うことによる理解送信を図ります。	○宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザで農業の多面的機能パネルの常設展示を実施した。 ○農業まつりにて、多面的機能パネルの展示、多面的機能チラシの設置を行った。(R5.11.11～12) ○久留米市立中央図書館の「農業in久留米」の企画展にあわせて農業の多面的機能パネルの展示、多面的機能チラシの設置を行った。(R5.11.24～R5.12.27)	—	○宮ノ陣クリーンセンターの見学通路を活用した農業・農村の多面的機能や食育の重要性を示したパネル展示を実施する。 ○農業まつりや中央図書館の農業関連企画展において、農業の魅力や多面的機能のパネル展示やチラシ設置を行う。	—	農業の魅力促進課
		食と農の重要性を理解し、久留米産農産物に愛着を持ってもらうため、小学生を中心として、本市農業の特長や魅力の発信に取り組みます。	○市内の小学6年生2,843人を対象に久留米産農産物(令和5年度は梨)の学校配付事業に併せて、多面的機能のチラシを配付した。	600	—	—	農業の魅力促進課

●個別施策2 地産地消の推進

①	久留米産農産物を購入しやすい環境整備	久留米産農産物であることを市民や事業者が認識しやすくするため、流通過程における「キラリ久留米」や「くるっば」のロゴマークの貼付を推進します。	○JAくるめ、道の駅くるめに対し、支援を行った。 JAくるめ:ほうれん草三角袋 道の駅くるめ:キラリ久留米シール(10,000枚)	383	○久留米産農産物の市民及び事業者への認知度を向上させるため、「キラリ久留米」や「くるっば」のロゴマークを活用した久留米産農産物の包装資材やシール作成に対して支援を行う。	500	農業の魅力促進課
		市内スーパーや小売店等で久留米産農産物の表示を強化するため、効果的なPR資材を作製・配付し、掲示してもらうなど、市民が購入・消費しやすい環境を整備します。	○市内スーパーや小売店等で久留米産農産物の販売ブースの表示を強化するため、個々の店舗に応じたPR資材を作製・配付したり、久留米産農産物PR動画等を放映するモニターを設置したりした。(17店舗) (R6.3月末時点 16店舗に設置済) ○地産地消推進店のPRチラシを作成し、広報くるめ(8月号)に折り込み、公共施設等で配布(計110,000部)し、市民への周知を図った。 R6.3.31現在221店舗、R5年度新規6店舗	620	○市内スーパーや小売店等で久留米産農産物の販売ブースの表示を強化するため、個々の店舗に応じたPR資材を作製・配付するとともに、久留米産農産物PR動画を放映するモニターを設置する。 ○地産地消推進店のPRチラシを作成し、広報に折り込むとともに、市公式ホームページに掲載している内容の充実(地産地消推進店地図を掲載)を図り、検索・利用の促進を図る。	774	農業の魅力促進課
②	地産地消の意識啓発	久留米産農産物を使ったメニューを考案し、地産地消動画の配信や料理講習会の実施等による情報発信を行い、伝統食や地産地消への意識向上に繋がります。	○食生活改善推進員協議会と連携し、各地域で久留米産農産物を使った料理講習会を実施した。(20回実施) また、市庁舎1階ロビーで、6月の国の食育月間や野菜の日(8月31日)に合わせて、地産地消動画を放映するとともに、リーフレット等の配付を行った。	768	○食生活改善推進員協議会と連携し、各地域で久留米産農産物を使った料理講習会を実施するとともに、リーフレット等を活用し、市公式YouTubeに公開している地産地消動画を紹介する。	1,287	農業の魅力促進課
		飲食店や保育所・幼稚園及び医療・福祉施設等に対する久留米産農産物の利用について、情報発信に努めます。	○久留米市中央卸売市場と連携して認可保育所、認可幼稚園及び認定子ども園や高齢者施設、障害者福祉施設など1,031ヶ所の市内事業所に、久留米産農産物を給食などに使っていただけるように文書によるお願いを実施。	—	保育所・幼稚園及び医療・福祉施設等への久留米産農産物の利用促進に向けて、PR等に努める。	—	農業の魅力促進課

《基本施策Ⅳ 環境に配慮した食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R5年度事業実績	R5年度 決算額 (千円)	R6年度事業計画	R6年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策1 食と環境について学び考える機会の拡大							
①	環境まなび のまちづくり の推進	生ごみの堆肥化や野菜づくりを指導する生ごみリサイクルアドバイザーを保育所、幼稚園、学校、地域等に派遣し、体験を通して「食の循環」による食育の推進を図ります。特に地域での生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を拡大し、子どもから大人まで環境に配慮した食生活を送る市民を増やします。	○生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を、小学校、保育園等に事業案内を配布し、生ごみの堆肥化・野菜づくりの体験をする場を提供した。また、生ごみの堆肥化やエコ・クッキングを通して、「命を大切に作る心」「もったいないの心」と「ものを大切に作る心」を育む取り組みを進めた。  派遣回数:11回 参加者数257人 派遣施設:8施設 (保育園 3箇所・小学校 4箇所・地域 1箇所)	85	○地域での生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を拡大するため、地域への事業周知を工夫して行う。	310	資源循環推進課
		家庭から排出される生ごみの堆肥化を促進するため、地域等で生ごみリサイクルを指導するリーダーを育成します。	○生ごみリサイクルアドバイザーを派遣し、コンポスト容器や段ボールコンポストを用いた生ごみ堆肥化の手法についての学習会を実施した。  講習会開催回数:2回 参加人数:36名	27	○リーダーとしての技術向上のため、生ごみリサイクル講習会や相談会等へ参加を促し、併せてリーダーとして活動できる人材の発掘を図る。	28	資源循環推進課
		新たな日常における暮らし方や働き方の変化に応じ、食品ロスやごみ減量、再利用をテーマとした動画を作成し、情報発信を強化します。	コンポスト容器を用いた生ごみのリサイクルについての動画を用いて、家庭でできる生ごみ堆肥化の手法を広報している。  再生回数:コンポストで堆肥づくり(実践編):3.3万回再生(令和3年度～) 再生回数:コンポストで堆肥づくり(お悩み解決編):7,800回(令和3年度～)	-	○アドバイザーによる生ごみリサイクルの動画やボカシ作り動画の広報を行い、家庭でも実践できる生ごみ堆肥化の手法を学ぶ場の提供を行う。	-	資源循環推進課
		宮ノ陣クリーンセンター「環境交流プラザ」を拠点として、食育講演会、生ごみリサイクル講習会、3R学習会を実施し、食品ロスの抑制など持続可能な社会の実現に向けた食育の推進を図ります	○宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザの工作室にて、「親子で食育！元気づけふりかけづくり講座」として、小学生とその保護者を対象におなかに優しいふりかけづくり、食で健康を整えることについての講習会を行った。  実施回数:1回 参加人数:16人	18	○環境学習の拠点として整備された環境交流プラザなどで食育講演会、生ごみリサイクル講習会、3R学習会等を実施し、環境に配慮した食育の推進を図る。	27	資源循環推進課

《共通施策 食育への理解と関心を高める》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	R5年度事業実績	R5年度 決算額 (千円)	R6年度事業計画	R6年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策 市民への情報発信							
①	新しい生活 様式に対応 した情報発 信	市民全体を対象として、食育をテーマとする展示会等を開催し、食育への関心度・認知度向上に努めます。	○食育啓発展示「久留米食育ギャラリー」の開催 「ふるさとくめ農業まつり」との同時開催において、食育推進会議全体でのスランブラリーの実施することで多くの集客ができ、より多くの幅広い年代の方への食育啓発を行うことができた。また、市民団体との協働により開催した。 日時:令和5年11月11日(土)、12日(日) 会場:久留米百年公園多目的広場 参加者:48,000人(11日25,000人、12日23,000人)	660	○食育啓発展示の開催 「ふるさとくめ農業まつり」と同時開催により、幅広い年代の多くの人への食育啓発を行うことを目指す。 また、新しい生活様式に対応した形式で市民団体との協働により開催する。 日時:令和6年11月9日(土)、10日(日)※予定 会場:久留米百年公園	595	農業の魅力促進課
		市公式LINEを使った食育通信の発行や、SNS等を活用した食育移管する事業やイベントの告知を行い、特に若い世代に向けた情報発信の強化を図ります。	○毎月19日の『食育の日』に、関係部局が実施している活動等を「食育通信」としてまとめ、市公式LINEで配信するとともに、市ホームページに食育に関するイベントや様々な分野の食育情報を発信した。 ○国の食育月間である6月に、事務局が製作した動画を市役所1階ロビーにて一同に放映するとともに、市公式ホームページに「食育動画の紹介」のページを新たに作成し、部会の垣根を超えた情報発信を行った。 ○商工労働ニュース等を活用して、職場での食育についての啓発を行った。	—	○毎月19日の「食育の日」に関係部局が実施している活動を「食育通信」としてまとめ、市公式LINEで配信するとともに、市ホームページに食育に関するイベントや様々な分野の食育情報を発信する。 ○国の食育月間である6月に、事務局及び各部会が製作した動画、リーフレット等を市役所1階ロビーにて一同に放映するとともに、市公式ホームページ・LINEに「食育動画の紹介」のページを新たに作成し、部会の垣根を超えた情報発信を行う。 ○商工労働ニュース等を活用して、職場での食育についての啓発を行う。	—	農業の魅力促進課



## 第4次食育推進プランにおける目標指標の進捗状況

基本施策Ⅰ	生きる力を育む食育 【子ども食育部会】	1 ページ
基本施策Ⅱ	健康づくりのための食育 【食と健康部会】	2 ページ
基本施策Ⅲ	農業・農産物への理解を促進する食育 【地産地消部会】	2 ページ
基本施策Ⅳ	環境に配慮した食育 【食の循環部会】	2 ページ
共通施策	食育への理解と関心を高める	3 ページ

第4次久留米市食育推進プラン 目標指標の進捗状況

【様式2】

基本施策Ⅰ 生きる力を育む食育

No.	目標指標	単位	基準 R2年度	目標 R7年度	実績 R5年度	基準年 比較増減	担当課
個別 施策 1	担任と連携した教科等指導を実施した栄養教諭の割合	%	61%	100%	83%	+22%	学校教育課
	残食率の平均値	%	小学校 米 2.5% パン 3.0% 副食 2.7%  中学校 米 1.1% パン 0.8% 副食 0.7% R1年度	小学校 米 2.5% パン 2.5% 副食 2.5%  中学校 米 1.1% パン 0.8% 副食 0.7%	小学校 米 3.0% パン 4.0% 副食 3.3%  中学校 米 2.8% パン 2.8% 副食 2.1%	小学校 米+0.5% パン+1.0% 副食+0.6%  中学校 米+1.7% パン+2.0% 副食+1.4%	学校保健課
	学校給食で導入した久留米産農産物の使用割合(金額)	%	58% H28~R2平均	62%	52.9%	-5.1%	学校保健課
個別 施策 2	朝食を欠食する小・中学生の割合	%	小学生 2.1% (全国平均値1.2%) 中学生 2.5% (全国平均値2.2%) R3年度	全国平均値以下	小学生 2.9% (全国平均値1.5%) 中学生 2.9% (全国平均値2.9%)	小学生 +0.8%  中学生 +0.4%	学校教育課
	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる3歳児の1週間当たりの「共食」の回数	回	12.6回/週	13回以上/週	12.3回/週	-0.3回/週	こども子育てサポートセンター
	保護者に対して2種類以上の食育啓発を行っている保育所・幼稚園・認定子ども園の割合	%	83.3% (80/96園)	100% (96/96園)	96.9% (93/96園)	+13.6pt	子ども保育課

## 第4次久留米市食育推進プラン 目標指標の進捗状況

【様式2】

## 基本施策Ⅱ 健全な食生活を推進する食育

No.	目標指標	単位	基準 R2年度	目標 R7年度	実績 R5年度	基準年 比較増減	担当課
個別 施策 1	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	%	50.9% R3年度	60%	41.1%	▲9.8pt	健康推進課
個別 施策 2	食を通じた健康づくりをテーマとした動画再生回数(累計)	回	12,788回	+50,000回	72,636回	+59,848回	健康推進課

## 基本施策Ⅲ 食と農への理解を促進する食育

No.	目標指標	単位	基準 R2年度	目標 R7年度	実績 R5年度	基準年 比較増減	担当課
個別 施策 1	農業体験や学童農園事業への参加人数	人	12,778人	23,200人	8,455人	▲4,323人	農業の魅力促進課
個別 施策 2	地産地消を意識している市民の割合	%	54% R3年度	65%	52.1%	▲1.9pt	農業の魅力促進課

第4次久留米市食育推進プラン 目標指標の進捗状況

【様式2】

基本施策Ⅳ 環境に配慮した食育

No.	目標指標	単位	基準 R2年度	目標 R7年度	実績 R5年度	基準年 比較増減	担当課
個別 施策 1	生ごみリサイクルに取り組む団体数	件	120件	135件	126件	+6件	資源循環推 進課

共通施策 食育への理解と関心を高める

No.	目標指標	単位	基準 R3年度	目標 R7年度	実績 R5年度	基準年 比較増減	担当課
個別 施策 1	食育に関心を持つ市民(20歳代、30歳代)の割合	%	83.3% R3年度	90%	89.9%	+6.9pt	農業の魅力促 進課